中医弁証トレーニングシート

№25

年齢	50	歳	性別	○男	女	初診	1982.7.10	作成日	2018.11.11

主　訴	咽喉疼痛１年　（Ｐ.559）
病　史	患者（共産党幹部）は、1 年前に水を飲む暇も無いくらいの仕事での労累と、それに加えて情緒不舒により、咽喉の痒痛が出現した。平素から咽喉に何か物があるような感じがしたが、呑み込もうとしても出来なかったので、何度も食道上部の造影を行ったが、同じように異常は見つからなかった。 毎日午後になるとひどくなり、口干があるが飲みたくなく、食べる量は減少し、精神は非常に苦悶しており、睡眠状態は良くないが、二便は正常。既往歴に特記すべきものはない。
四診所見（検査）	【望診・聞診・問診・切診】 ①咽喉の痒痛 ②平素からの咽喉の異物感 ③呑み込もうとしても出来ない ④午後の咽喉疼痛の増悪 ⑤口干があるが飲みたくない ⑥食べる量の減少 ⑦精神の苦悶 ⑧面色不華 ⑨咽喉部は腫れていないが、紅赤
舌　診	⑩舌質：舌淡紅嫩 ⑪舌苔：少苔
脉　診	⑫脉：弦数
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】

病性弁証	【気病弁証】気虚・気陥・気滞・気逆（肺気・胃気・肝気）・気随血脱・気虚失血・気血両虚 【血病弁証】血虚・血熱・血瘀・気滞血瘀 【津液不足弁証】 【津液病弁証】
病因弁証	【六淫弁証】風・寒・暑・湿・燥・火 【七情弁証】喜・怒・憂・思・悲・恐・惊 【飲食労倦弁証】傷食・中毒・過労・過逸
病　　機	
証　　名	
弁証分析	
主要な 弁証類型	
治則治法	
配穴処方	
処方意義 （按語）	